

## 第4回 京都駅南口駅前広場エリアマネジメント会議 議事要旨

日 時：平成26年6月27日（金） 午前10時00分～午前11時30分

場 所：京都市役所 寺町第1会議室

出席者：別紙のとおり

議 題：1 今年度の検討内容等について

- 2 貸切バスのショットガンシステム運用実験案（閑散期）について
- 3 タクシーのショットガンシステム運用実験案（閑散期）について
- 4 タクシープール等の利用規則について
- 5 その他

### 1 今年度の検討内容について（資料に基づき事務局から説明）

（資料に基づき事務局から説明）

#### （1）各委員からの意見

- ショットガン実験について、周辺地域への波及効果をしっかりと確認しなければならない。あらかじめ、懸念される問題点を示さなければならない。
- 繁忙期は、パークアンドライド等と日程が被る可能性があるため、調整を行わなければならない。
- 京都駅の利用客や地域住民の方に迷惑をかけることがないように、関係機関との調整をしっかりとしていただき、早め早めの段取りをしていただきたい。
- 繁忙期と閑散期の実験の狙いを明確にした上で、何を調査し、何を把握するのか十分に検討しなければならない。

#### （2）とりまとめ

- 繁忙期、閑散期の実験とともに、準備段階で、実験計画をもとに関係者との調整を十分に行い、実験を実施する。
- 実験の目的を明確にし、計測項目の検討を行う。

### 2 貸切バスのショットガンシステム運用実験案（閑散期）について

（資料に基づき事務局から説明）

#### （1）各委員からの意見

- 十条通は交通量が多いので、入庫方法について確認してもらいたい。
- バスプール周りの通路が非常に狭いため、貸切バス利用客が集中する時は、他の利用客の通路を確保し、通行の阻害にならないようにしてもらいたい。
- 降車の時間が遅れ新幹線の時間に間に合わないなど、駅の利用客に迷惑をかけることやトラブル等がないようにしてもらいたい。
- 駅の利用客にも、実験を実施していることがわかる広報看板を設置してもらった方がよい。

- 看板の内容をもう少し詳細なものにした方がよい。
- バスの移動や乗降にかかった時間を計られるが、その後、利用客が次の行動に移るまでにどのくらい余裕があったのか、ケース毎に計っておいた方がよい。

#### (2) とりまとめ

- 協会加盟のバス会社だけでなく、協会に入っていない会社へもできる限り、周知徹底を行う。
- 看板を、駅前広場や鴨川西ランプ駐車場に設置することなどにより、バス事業者だけでなく、利用客や市民にも実験内容の周知を行う。
- 本日いただいた意見を踏まえ、駅利用客に迷惑をかけないように、安全面を考慮した実験計画の作成、配置員の教育を徹底する。
- 実験目的を明確にした上で、計測項目を決定する。

### 3 タクシーのショットガンシステム運用実験案（閑散期）について

（資料に基づき事務局から説明）

#### (1) 各委員からの意見

- 第2プール受付終了や京都駅へ直接入庫いう表示を何らかの形で行わなければならない。
- 駅前プールのタクシーが全くないという状況にならないようにしなければならない。
- 実験時は、人が誘導を行うため、人の配置によりトラブルの原因になるので、十分に検討しなければならない。
- 看板には、実験の内容、目的等をわかりやすく表示し、タクシーを利用される方に実験に対して理解が得られるようにしなければならない。
- 近傍地の第2プールの容量を考えると必ず入り待ちが発生すると思われる所以、入り待ちへの対応をしてもらいたい。
- イオンモール周辺の交差点は交通整理がされているので、そのあたりと連携を図り、事故等ないようにしてもらいたい。
- 閑散期の実験で、バスやタクシーの出庫頻度がわかるので、交差点の負荷がどのくらいになるなど、計算ができる範囲でしていただければ、良いと思われる。
- イオンモールで行われるイベントは事前に確認してもらいたい。
- 番号票を渡す作業によって、駐車場の出入口に近い箇所で、車列が発生すると、他の交通に迷惑がかかるので、駐車場の中へ入り対応してもらいたい。

#### (2) とりまとめ

- 看板を、駅前広場や鴨川西ランプ西側用地に設置することなどにより、実験内容の周知徹底を行う。
- 本日いただいた意見を踏まえ、駅利用客や周辺の住民に迷惑をかけないように、安全面を考慮した実験計画の作成、配置員の教育を徹底する。
- 実験日における周辺施設のイベント状況の確認を行うなど、周辺との調整を行う。

#### 4 タクシープール等の利用規則について

(資料に基づき、事務局から説明)

##### (1) 各委員からの意見

- 法的な整理、誰の権限でどのように進めていくのか詰めていくこと
- 指導対象事項の客觀性をどのように保つか、それをどう実施していくか検討していく必要がある。